

行田市は有名な観光地ではございませんが、見処は数えきれないほどあります。有名なところとしては、「埼玉県古墳群」、「忍城址」、「足袋蔵」、「古代蓮(行田蓮)」、「田んぼアート」と枚挙にいとまがありません。



これ以外にも有名ではございませんが、沢山の史跡などがあります。その中で今回ご紹介するのは「八幡山古墳」です。

市内藤原町にある、7世紀前半に築造された若小玉古墳群の直径80mの大型円墳と推定されます。



昭和9年に近くの小針沼の干拓事業のため古墳の封土を壊した際に石室が現れ、調査の結果全長16.7mの巨大な石室であることが判りました。



奈良県明日香村の石舞台古墳に匹敵する、巨大な石室であることから「関東の石舞台」とも呼ばれています。

※石室内の公開：土・日・祝日（年末年始を除く）

10時～16時



文・写真：紺野 仁